

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26 年 7 月 15 日		
所属学部・研究科	総合科学部 3年次 (留学開始時点)		
留学先大学	トゥールーズ・ミライユ大学 (国名: フランス)		
所属学部・学科等名	DEFLE		
在籍身分	交換留学生		
留学期間	平成 25 年 9 月 1 日 ~ 平成 26 年 6 月 30 日		
1. 渡航について			
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ		
	ビザ申請先: 在日フランス大使館		
	取得方法: キャンパスフランスでのオンライン手続き→大使館での申請 提出書類: ビザの申請書、証明写真、経済証明書、パスポート、大学の登録証明書、移民局提出用フォーム		
	手続きに要した日数: 2か月半		
その他必要な事前手続き	フランス到着後の手続きにおいて、戸籍抄本または戸籍謄本のフランス語翻訳が必要となります。		
出国年月日	平成 25 年 8 月 25 日		
経路	関西国際空港～パリ シャルル・ドゴール空港～トゥールーズ (TGV)		
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 Ôkin という団体 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無		
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月半ばにクラス分けのテストと留学生用のオリエンテーションがありました。		
帰国年月日	平成26年7月1日		
経路	パリ シャルル・ドゴール空港～関西国際空港		
2. 留学経費について			
所要経費	総額	150万 円 (1€=140円程度)	
	内訳	渡航費	20万 円
		保険料	15万 円
		教科書代(学費)	0 円
		宿舍費	20万 円
		食費	25万 円
		その他 (雑費) (費) (費)	70万 円 円 円
3. 授業について			
2013年 1 学期	9 月 23 日 ~ 1 月 17 日		

2014年2 学期	1 月 20 日 ~ 5 月 16 日	
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生は DEFLE という学部で、文法や聞き取り、会話、読解、フランス文化等を学ぶことができます。他の学部の授業を受講することも可能です。	
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
学術面に関する後輩へのアドバイス		
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	約 9 m ²	同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居費	1ヶ月当たり 229€ (現地通貨)	約 3万2000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス	私はキッチン付きではなく、共同キッチンがある棟の部屋に住んでいました。毎回調理器具を運ぶ等少し手間はかかりますが、他の部屋の学生と交流できる素敵な空間となりました。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	フランスの水は硬水です。初期のころは肌が荒れたり、髪の色が変化してしまうこともありました。基礎化粧品は使い慣れたものを一年分持ってきておいたほうがいいと思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
日常生活ではあまり危険を感じたことはありませんでしたが、荷物をたくさん持ち歩いている旅行中などは、怪しい人が近づいてくることもあったので特に気を付けていました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
留學生活も終盤にさしかかったころ、トゥールーズ市内の他の大学寮で火災（放火を含む）が立て続けにおきました。寮内では火災報知器の誤作動が頻繁に起こるので気を緩めてしまいがちになりますが、用心が必要だと感じました。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動を一年ずらして行う予定です。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
次年度から大学名が改称され、トゥールーズ ミライユ大学からトゥールーズ ジョンジョレス (jean jaurès) 大学となります。		

学習の概要に関するレポート

私が留学していたトゥールーズ・ミライユ大学では、DEFLE という留学生向けの学部があり、基本的にその学部の授業に参加します。9月はじめに行われるクラス分けテストの結果により、5つの学年に振り分けられます。このテストを受けることができなかった人たちのために9月末にもう一度クラス分けテストがありますが、テストの結果が出るまでは授業に参加することができないので、余裕をもって到着しておくことをおすすめします。

私はこの学部で2年生用の授業に参加し、そこでは主に文法、聞き取り、会話、読解、フランス文化等の授業が行われました。2年生用の授業は主に会話を重視した授業形態、3年生用の授業は歴史や文学等、さらに専門性を深めた授業形態、といった印象でした。しかし、どの授業も基本的に先生と生徒、生徒同士のコミュニケーションを重視しながら進められていきます。さまざまな場面で議論したり自分の意見を主張することが求められるので、初めは先生の話を理解するだけでも大変な努力が必要ですが、それ以上に、積極的な姿勢で授業に参加することが必要だと感じました。また、クラスにはさまざまな国籍の学生が在籍しているので、フランスだけでなく、今まで身近に感じることもなかった国の歴史や文化にも触れることができます。これは私にとって大変貴重な経験であったと思います。直接的なコミュニケーションが、異文化や価値観の理解、そして日本という国について発信していく重要な手段となりました。

2学期からは、DEFLE の授業に加えて、他学部のフランス地理、日本地理の授業を受講しました。フランス人学生に交じっての授業なので苦労はありましたが、自分の専門分野を深めることができたという点で大変満足のいくものとなりました。

3月にはTCF、5月にはDELF DALF の試験が開催され、自分のフランス語力を試す良い機会になると思います。両試験ともに、1、2か月前から申込み受付が開始されます。(試験の時期は年度によって多少異なるかもしれないので確認が必要です。)

また、ミライユ大学では部活やサークル等の活動はありませんが、授業としてテニスやバスケット、ダンス等数十種類の中から自分の空き時間に合わせて好きな数だけ受講することができます。授業の合間の気分転換や、他学生との交流の輪を広げるきっかけになるとと思います。

生活の概要に関するレポート

私が10か月間を過ごしたトゥールーズという街は、バラ色の街と呼ばれており、その名は赤レンガの街並みに由来しています。バラ色の街並みのほかにも、トゥールーズの中心を流れるガロンヌ川やミディ運河等、南仏らしい美しい景色が特徴です。午前中にはいたる所でマルシェが開かれていたり、街の中心にあるキャピトル広場では、毎日のように何らかの催しが行われているので、中心地周辺へ足をのばせばいつも新しい発見をすることができます。

オペラやコンサート等の文化イベントも頻繁に開催されています。それらのほとんどには学生割引があり、5～10€程度で鑑賞することができます。時折、学生無料のクラシックコンサート等もあります。図書館や街中で手に入るイベントのパンフレットや、インターネットページ等、たくさんの情報がありますので活用すると良いと思います。また、メトロ・marengo 駅には、mediathèque という施設があり、本やCD、DVD等を借りることができます。私はDVDを利用しリスニングの練習に役立てていました。

また、トゥールーズ周辺にも訪れるべき街はたくさんありますし、パリへ出かけるときにも、TGV等電車を利用することも多いと思います。SNCF（日本のJRのようなもの）では、25歳以下の学生はcarte jeune という割引を利用することができます。事前に50€で購入する必要がありますが、購入しておく大変便利です。

最後に到着直後の手続きについて触れておきたいと思いますが、過去の先輩方も書かれているとおり、手続きは大変複雑かつ、毎年若干の変更があります。それらにも対応できるよう、十分な情報収集や必要書類のすぐ入手できるようにしておく必要があります。パスポートやビザ、入寮許可証等のコピーは手続きの際何枚も必要になるので、あらかじめ準備しておくが良いです。銀行口座に関しては、今年度のすべての日本人留学生在がLCLという銀行で開設しました。ここで同時に住宅保険にも加入することができます。その他OFFIの手続きやCAFの申請等、たくさん手続きが続くので、手続きに漏れがないかどうか他の日本人学生と確認し合うことが大切だと思います。ただ、今年度から正式に、Ôkinという日本語学科の学生を中心とした団体の方々が全面的にサポートしてくださったので、手続きに関しても特に大きな不安なく終えることができました。彼らには一年を通してお世話になり、また彼らとの交流を通してさまざまな活動に参加するなど大変有意義な時間を過ごすことができました。